

2020年5月8日

鹿児島市長 森 博幸 様

鹿児島市議会 立憲フォーラム  
代 表 まつお晴代  
向江かほり

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する要請

この間の森博幸市長をはじめとする当局の皆様の新型コロナウイルス感染症に対する様々なご尽力に対し、心から敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の全国的拡大という今日の厳しい状況や、鹿児島県は特定警戒都道府県にはならなかったものの、5月31日まで全国の緊急事態宣言が延長されたことを受け、本市の市民生活や経済活動への更なる深刻なダメージ・リスクを最小化し、安心・安全な日常生活を取り戻すため、下記の対策を早急に講ぜられるよう要請いたします。

### 記

#### 1 感染拡大防止策について

- ① PCR検査体制を拡充し情報開示すること。
  - ・医師の判断で、PCR検査を希望する方には、PCR検査を実施する体制を構築し、陽性率等の情報を毎日開示すること。
  - ・院内感染や医療崩壊を防止するため、管内の医療従事者に対するPCR検査を優先的に実施すること。
  - ・民間医療機関とも連携し、ドライブスルー方式などによるPCR検査体制を構築し、協力する医療機関には相応の物的・財政的支援を実施すること。
- ② 感染拡大防止のため、すべての学校施設・保育園・幼稚園・児童クラ

ブ等の施設へ、マスク・ペーパータオル・液体石鹼・消毒液等を継続的に配布すること。

- ③ 民間医療機関やホテル・旅館等と連携し、爆発的患者急増（オーバーシュート）やクラスター感染が発生した場合を想定した医療体制（宿泊医療、中等症・重症患者の役割分担等）を早急に構築すること。
- ④ 院内感染を発生させないため、医療従事者・妊婦・透析患者等へのPCR検査を優先的に実施すること。
- ⑤ 医療機関に対して、感染対策に必要な設備費、マスク・ガウン・フェイスシールド・手袋などの防護具の費用を支援すること。

## 2 市民生活支援策について

- ① 特別定額給付金（10万円）の支給については、郵送申請が6月1日受付開始、6月中旬給付開始となっているが、生活困窮者にとっては死活的な問題となっていることから、早急な支給を実施すること。
  - ・特に、生活困窮者に対しては、最低オンライン申請（5月7日受付開始、5月18日受給開始）と同程度に、窓口支給を実施すること。
  - ・ホームレス、DV等で避難している方には、確認できる資料をもって受給できるようにすること。
- ② 臨時特別給付金（対象児童1人当たり1万円給付）を住民税非課税世帯にも適用すること。
- ③ 給水契約者に対する水道基本料金のほか、希望者には固定資産税・都市計画税、住民税、入湯税、事業所税等の免除、猶予、減額の措置を令和3年3月31日までの期間実施すること。
- ④ 新型コロナウイルス感染症により失業・内定の取り消しとなった方に、会計年度任用職員として200人（現行概ね100人）を令和3年3月31日（現行概ね3か月）までの期間雇用すること。

## 3 事業継続支援策について

- ① 新型コロナウイルス感染症の経済的損失等を最小化し、効果的・効率

的な事業者に分かりやすい救済支援を実施するため、新型コロナウイルス感染関連の国・県・本市の給付金・助成金、制度融資に係る保証等の相談窓口を一本化(ワンストップ化)し、担当部署を設置すること。

- ・持続化給付金、雇用調整助成金、新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金支援金 ⇒国
- ・新型コロナウイルス関連緊急経営対策資金 ⇒県
- ・経営安定化資金(危機関連保証対応)、経営安定化資金(セーフティネット保証対応) 鹿児島市事業継続支援金(30万円) ⇒市 等

② 本市独自の事業継続支援金等を拡充すること。

- ・事業継続支援金 現行上限 30万円⇒上限 100万円

③ 休業要請と補償は一体であり、影響を受ける業種への十分な支援を実施すること。

- ・飲食、遊興施設等
- ・家賃補助(最高 10万円、家賃の 50%上限、6か月)

④ 今回の新型コロナウイルスの感染拡大は、畜産・花き生産者・農林水産業・食品産業に影響がひろがっており、こうした業種の方にも各種支援策の周知徹底をはかること。

#### 4 小・中・高等学校等支援策について

① 5月11日の市立小・中・高等学校の再開においては、十全な感染防止策を講ずること。

② ITCやテレビを活用した学習の実施に係る通信環境の整備についても、子どもの視点に立った必要な体制を構築すること。

③ 小・中・高等学校の学習の環境整備や児童生徒の心理的ケアを十全に行い、学習格差や分断が生じないように丁寧な措置を講ずること。

④ 本市の児童クラブの人手不足は深刻な事態に陥っていることから、早急に要員を確保すること。

以 上